

かいぞう

広報部、インスタグラムも はじめました!



海蔵地区まちづくり協議会 公式アカウントで情報発信中

今年度も新型コロナウイルスの影響で、海蔵地区の行事がほとんど中止になってしまいました。

そのような中でも、小中学校ではオンライン授業が行われ、家庭や学校で、様々な工夫をしながら新しい生活スタイルを受け入れてきました。

そこで「海蔵地区まちづくり協議会」でもオンラインで新しい取り組みに挑戦することになりました。それが、インスタグラムを利用した、海蔵地区のみなさんとの交流と情報の発信です。

今年度、インスタグラムの取り組みをはじめるとにあたり、「SNS運用方針」を策定したうえ、緊急事態宣言が解除されたタイミングで、「はじめてのインスタグラム講座」を開催しました。

講座に参加していただいた方々から、次々と身近な情報をインスタグラムで「#海蔵散歩」をつけて、投稿していただいています。「#(ハッシュタグ)」をつけることで、たくさんの方の投稿の中から海蔵地区の情報を共有できるようになっています。

散歩をしていて、ふと足元に咲く花に目を留めてみたり、ワクワクするようなできごとがあったり、イベントのお知らせをしたり・・・インスタグラムを活用した海蔵地区の「今」の情報や、「昔」の懐かしい写真など、様々なジャンルの情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

インスタグラムで「海蔵地区」を知る



コロナ禍で直接会うことができなくても、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用することで、地域のつながりを感じることができるのでは…と「海蔵地区まちづくり協議会広報部」のインスタグラムの公式アカウント「海蔵散歩」で、交流がスタートしています。

「はじめてのインスタグラム講座」に参加したほとんどの人は、初めて操作をしました。それでも、講師とアシスタントの方々に、とても丁寧にわかりやすく説明をしていただいたので、「#海蔵散歩」をつけて投稿することができました！

1. NPO法人愛ママズIT倶楽部様を講師にお招きして、「はじめてのインスタグラム講座」を海蔵地区市民センターで3回開催し、約40名の方が参加しました。
インスタグラムの検索方法や、「#海蔵散歩」をつけて投稿する方法の説明をしていただきました。



2. 講座を始める前に、アルコールでの手指消毒や検温を実施しました。
3. 講座を開催した数日後、投稿のしかたについての「復習講座」を急遽開催しました。



おばちゃま探検隊インスタグラムに挑戦！

～海蔵地区まちづくり協議会広報部主催の講座に参加～



おばちゃまA（以下A）：かいぞうセンターだよりに「はじめてのインスタグラム 参加者募集！」って載ってたね。

おばちゃまB（以下B）：参加してみよか？

おばちゃまC（以下C）：もう、ちゃんと3人分申し込んであるで。「インスタグラムのアプリケーションをスマートフォンにインストールしておいてくださいね」って呪文みたいなこと言われたけど、二人ともできる？

A：そーいう難しいこと、うちは娘にやってもらおうわ！

そして、当日・・・

B：ちょっとドキドキや。話がチンプンカンプンやったら、どないしよ。

C：講師さんもアシスタントさんたちも優しい人やで、ひと安心や。

講師：「では、みなさんのスマホで実際にインスタグラムを使ってみましょう」

A：検索、で、ハッシュタグ#のマークをピツと押すんやな。次に「四日市ラン子」って文字を入力すると・・・。

B：美味しそうな料理の写真、たくさんあるなあ！

C：このお店、ええな！みんなと行きたいなあ。地図も見られて便利やな。

A：「#京都観光」は、投稿数が115万もあるで。写真見ただけでも行った気分になれそうやわ。

講師：「では、今からみなさんも投稿してみましょー!!」

B：ええー!?そんなこと、すぐにできるんやろか!!!

講師：「困ったな・・・というときは、黙ってスツと手を挙げてくださいね。すぐにスタッフが助けにいきますよー」

A：ホーム画にある、+マークを押せば投稿ができるんやな。写真を選んで、コメントを入力して・・・。

B：「#海蔵散歩」をつけて、投稿→するんやな。

C：やったあ！できたできた！順番どおりにやったら案外、簡単やな。

A：講師さんの説明が、とつてもわかりやすいし、スタッフの人達も教えてくれてよかったわあ。

B：さっそく「#海蔵散歩」で検索してみたで。さつき自分が投稿した写真も、もう見れる！みんなの素敵な写真もあるわ。

C：「いいね(♡)」も、押したいな。

A：「#海蔵散歩」のついた投稿が増えると楽しくなりそうやなあ！

B：「インスタ映え」する海蔵を探しに散歩へ行きましょか？

A・C：行こ！行こ!!

キーワードは「#海蔵散歩」！！

今、たくさんの方々が、インスタグラムで「#海蔵散歩」をつけて投稿していただいています！

「地区広報かいぞう」の紙面でも、ほんの少しですが、紹介します。



「地区広報かいぞう」と「海蔵地区ホームページ」



左の写真の「地区広報かいぞう」は、昭和55年8月発行のもので、号数は「第1号」と「海蔵社協通算第22号」が標記されています。

「第1号」は、昭和55年度から、海蔵地区市民センターと共同で発行することになったことによるものです。残念ながらこれ以前のは保存されていません。

平成10年度までは、年2回発行の時もありましたが、それ以降は年1回で、3月に発行しています。

平成16年度からは、地区市民センター業務の見直しにより、共同発行ではなくなり、号数表示を「海蔵地区社協通算」のみとしました。

平成29年度に、海蔵地区社会福祉協議会の広報部が海蔵地区まちづくり協議会へ移管されましたが、号数はそのまま継続しています。

記事は、各年度の地区内の出来事や行事等、古い号では町名の由来、寺社シリーズ、海蔵川を探ってなど、多様な内容のものを掲載して来ました。

右の写真は、海蔵地区ホームページ (<http://kaizotiku.org/>) のトップページです。平成24年度に当時の海蔵地区社会福祉協議会の広報部が開設しました。現在は、海蔵地区まちづくり協議会の広報部に移管されています。

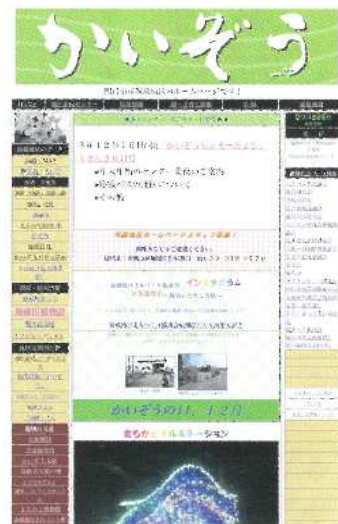
海蔵地区内の諸団体や小中学校・幼稚園、地区のデータや歴史文化、海蔵川の桜、国指定天然記念物アイナシ・イヌナシ、堀川菖蒲園の他、様々な情報を掲載しています。

過去の「地区広報かいぞう」を見ることもできます！

トップページの左側の覧にある「地区広報かいぞう」をクリックしてください。

また、海蔵地区市民センター事務所には、紙の保存版があります。

ご覧になりたい場合は、貸出し受付をしていただき、センター1階の「かいぞう文庫」でご覧ください。





緊急事態宣言が発出され、四日市市の小中学校では、9月1日からオンライン学習をスタートしました。

9月10日、海蔵小学校を訪問し、オンライン授業の様子を見学させていただきました。

ほとんどの児童が、本年度から全児童に配布されたタブレットや家庭の端末を使用し、自宅でオンライン授業を受けていました。

朝の会、帰りの会は担任が行い、1限目から5限目までの授業は、オンライン学習の特性を活かし、複数クラス合同の授業を行っていました。学校はテレビスタジオのようになっていて、先生方がさまざまな工夫をこらし、オンライン授業を行っていました。テレビのように一方通行にならないよう、授業をする先生、一人ひとりの児童の様子や声を画面からひろう先生など、役割分担をし、ワンチームとなって、全力で、オンライン授業を成功させようと努力されていることがわかりました。



自宅でオンライン授業を受けることが難しい児童は、学校でオンライン授業を受けていました。低学年は、ほぼ全授業を学級担任が行う形をとっていました。各クラス4、5名の児童がお弁当を持参し、静かな学校でオンライン授業を受けていました。

画面を長時間みると疲れがでるため、少しでも身体を動かせるよう体操などをしたり、オフラインでの学習を考えたりしていました。

子どもたちの声

海蔵小学校 オンライン授業 自宅学習のリアル

保護者の声

〈低学年〉

- ◆家にいるから休み時間に好きなことができる。
- ◆(接続不良が起きた時)自分で接続できない。
- ◆学校までの長い道のりを歩かずに済んだ。
- ◆給食を食べなくてもよかった。
- ◆マスクをしなくてもいいのは楽。

〈高学年〉

- ◆繋がりが悪い(多数)。
- ◆マスク無しの友達の顔を見ることができた。画面を通し、友達の顔を見られるのは嬉しい。
- ◆先生から指示が口頭だけでなく画面で表示されたのがわかりやすくてよかった。
- ◆毎日画面に向うのは疲れる。
- ◆学校での授業がいい。
- ◆このまま毎日オンラインでいい。
- ◆一日中タブレットの画面をみていたからと、ゲーム時間を減らされた。
- ◆画面が小さいから、長時間は疲れた。
- ◆慣れれば学校に行くよりオンラインの方が良い。
- ◆いつも騒がしい子に授業を妨害されることがないから先生の話がよく聞こえた。
- ◆早起きしなくていいから楽。
- ◆画面に顔出しするのが恥ずかしい。



〈低学年〉

- ◆宿題、提出物についての説明が口頭で分かりづらかった。
- ◆上手く繋がらず授業中ずっと子どもに付きっ切り。お昼ご飯をいつ準備したらいいの!?
- ◆オンライン、低学年は親ありき。親の負担が大きい。仕事に行けない。
- ◆1年生にオンラインで絵具セットを使わせるのは無茶。親ありき。

〈高学年〉

- ◆チャットが荒れ気味。(授業の質問とは関係ない書き込みが多い)
- ◆授業に集中できていなかった。
- ◆朝、接続を確認してから仕事にむかうことになり、遅刻して行った。



〈共通〉

- ◆二人いると朝の接続ログイン確認が忙しい。
- ◆学校のタブレットの性能が悪く、家のものを使用。
- ◆体育音楽授業でイヤホンは必須となり思わぬ出費。
- ◆他学校に比べると初めてにしては上手くいった。
- ◆様々な工夫をし、チャレンジしていただいたことに感謝。

四日市市 市立中学校「第3の制服」導入 山手中新1年生の選択率 6.8%

令和3年度から、四日市市内の公立中学校では、既存の制服に加え「第3の制服」として、男女共通のスラックスとブレザーの制服が導入されました。これは、トランスジェンダー等の多様性への配慮、さらには「ユニバーサルデザイン」として、防寒や動きやすさも重視した制服となっています。

制服は紺色で、大小の2サイズ。ボタンは右前と左前で付け替えることができます。各学校でボタン等の細かなデザインを変えることもできるようになっています。

市内すべての中学校が、「第3の制服」をきっかけに、性の多様性がある当たり前となり、男女や障害の有無、出身地等の固定概念にとらわれることなく、居心地のよい場所になってほしいという願いがこめられているそうです。

令和3年度は、山手中学校の新1年生218名中15名が、「第3の制服」を選択しました。



生徒の声：僕は動きやすさが気に入ってブレザー制服を選びました。確かに、まだ着ている生徒が少ないので目立ちますが、選んでよかったと思っています。



保護者の声：中学生＝学生服（学ラン・セーラー服）というイメージでしたが、新鮮さもありブレザー制服にしました。格好が良くて気に入っています。

先生の声：襟元がすっきりしていて着やすいと思います。市内共通なので、校外学習時等で、他校と一緒にになった時、見分けがつかなくなってしまいます。今後、各中学校の特徴を出す工夫をし、ブレザー制服が浸透していくことを期待しています。

山手中学校の新型コロナウイルス感染症対策

山手中学校では、生徒及び教職員が安全に学校教育活動を継続できるよう、校内で様々な感染症の拡大防止に取り組んでいます。

正面玄関に温度測定スタンドと消毒液を設置し、来校者にも感染症対策にご協力いただいております。

各手洗い場にも消毒液を設置し、手洗い後すぐに消毒ができる環境を整えています。

毎朝教職員が廊下と教室の窓を開け、教室のエアコン使用時も可能な限り換気をし、空気が循環するようにしています。

昼食時には、皆で楽しく話しながら食べたい気持ちをぐっと抑え、「黙食」を徹底！！

授業中もコロナ禍以前に行っていたような机を向き合わせて班体型を作ることはなく、顔が向き合わないようにしています。

以前の学校生活と比べると寂しい部分もありますが、大切な家族や友達のためにも「ソーシャル・ディスタンス」ではなく、心の距離はそのままに肉体的な距離のみを保つ「フィジカル・ディスタンス」をとるよう心がけています。



海蔵 この一年

令和3年度も新型コロナウイルス禍で多くの取組みが中止となりました。

3月下旬～4月上旬 海蔵川堤防



昨年に続いて桜まつりは中止となりましたが、大勢の方が花見に来られました。通行案内表示等を設置しました。

【桜まつり実行委員会】

5月19日 ごきぶり団子作り



すりおろした玉ねぎ、ホウ酸、小麦粉、砂糖、牛乳を混ぜ、水を足しながら耳たぶほどの固さになるまでこねます。その後、丸めて乾燥させます。(左上写真)

【婦人会】

5月28日 土木要望現地確認



道路や側溝の整備、カーブミラーの設置などの自治会要望箇所の現地確認を行い、優先実施箇所の工事を行いました。

【連合自治会】

6月上旬～中旬 堀川菖蒲園



昨年に続いて菖蒲まつりは中止となりましたが、開花時期には多くの方が来られました。年間を通して管理活動を行いました。

【堀川菖蒲園花菖蒲育成会】

6月19日 海蔵川救命ブイ点検



3月から8月にかけて海蔵川は農地の塩害防止のため新開橋下流の河口堰が閉じられ水位が上がります。その間の水難を防止する救命ブイの点検を行いました。

【青少年育成協議会】

9月19日・20日 敬老のお祝い



令和3年9月20日現在で満70歳以上となられた2,125人の方へ、お祝いの品の羊羹をお届けしました。

【社会福祉協議会・連合自治会】

11月7日・3月6日 海蔵川・三滝川堤防清掃



自治会や婦人会、青少年育成協議会の皆さんの協力を得て実施しました。事前に剪定した桜の枝や伐採雑木も処理しました。

【社会福祉協議会 環境部】

10月13日・1月26日 新しい本を購入

本年度は99冊購入しました。学校帰りの児童や母子を中心に文庫を利用しています。【かいぞう文庫】



2月26日 第1回海蔵地区を歩こう会



海蔵小学校体育館をスタート・ゴール地点として、西阿倉川地内と東阿倉川地内の寺社や国指定天然記念物のイヌナシ・アイナシの自生地等を巡りました。4カ所でスタンプカードに印をもらい約3.5kmのコースを、幼児から高齢者まで50組180人が和やかに歩きました。

ゴール後には、千本引きやニュースポーツを楽しんだり、クイズの答え合わせやインスタグラム投稿者への特別賞もありました。

地区事業企画委員会とまちづくり協議会広報部の協力を得て、スタッフ40人が運営に当たりました。

【社会福祉協議会 健康推進部】

月曜日～土曜日他 いきいきサロン

(新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間は中止しました)



パステルアート、折り紙、キルト、体操、踊り、編み物、パソコン、カラオケ、川柳、お達者ストレッチなど15のサロンを、定期の日程を組み、感染予防対策を取って行ないました。

【くすの木サロン】



海蔵地区を走ってみた

昨今のコロナ禍でお家時間が増えて、私みたいに運動不足になられた方もみえるのではないのでしょうか。そんな中、簡単にできる運動がジョギングだと思います。でも、どこを走ったらいいのか、どれだけの距離を走ったのか分からないからと、なかなか走り出せないという方に、筆者の主観となりますがおすすめのジョギングコースを走ってきたので紹介いたします。

海蔵といえばやっぱり桜まつりが開催される海蔵川堤防だと思います。

このコースのおすすめの点は

1. 景色が良い。桜並木はもちろんのこと、菖蒲園、一里塚記念碑、近鉄橋梁など見どころがいっぱいです。
2. 信号もなく、車の通りも少ない。
3. 桜の木で影が多く、暑い日でも日差しを避けられる。
4. 昨年度、整備された海蔵橋下に設置されたベンチなど休憩場所がある。

などがあり、走りやすい道になっています。

コースの内容ですが①の桜まつり入口から東に向かってスタートします。近鉄橋梁、国道一号を潜って越えて②の河川敷へ降りる階段のあるところで約1キロになります。③の突き当りまで行くと約1.5キロ、折り返してスタートまで戻ると約3キロとなり、適度なジョギングができます。



堀川菖蒲園のお手洗いは、平成9年の市制100周年事業の一環として堀川菖蒲園が開設されるのに合わせて設置されました。その後、老朽化が進み、男女の区分も無いなどのことから、海蔵地区連合自治会より市へ改築整備の要望を重ね、昨年2月に多目的トイレもある市内でも最も整備された設備の公衆トイレに改築されました。正面の壁には、「こにゅうどうくん」がいる菖蒲園の陶板が掲げられています。

堀川菖蒲園
御手洗



海蔵橋下左岸に緑地広場

海蔵地区都市計画マスタープランには海蔵川緑地の整備が掲げられています。その一環として、海蔵橋周辺左岸の整備が計画され、昨年度に計画の一部の散策路や芝張りゾーンの整備、ベンチの設置、海蔵橋下通路の階段設置等が行われました。残りの散策路や芝張りゾーンの整備、川沿いの植栽の整備は、来年度に行われる予定です。散策路は、旧東海道の海蔵川に架かっていた橋の位置にも整備され、その表示がされることになっています。海蔵川を訪れる人、東海道を歩く人の休息・憩いの場として利用していただけます。【海蔵地区都市マス委員会】



西阿倉川変則交差点改良整備事業

海蔵地区都市計画マスタープランに基づき、西阿倉川変則交差点を十字交差点に改良整備する事業は、令和2年度に仮設道路と堀川右岸の橋梁下部の設置工事が行われました。令和3年9月下旬から年度内完成で堀川左岸の橋梁下部の設置工事が行われています。そして令和4年度に堀川に橋桁を架け、新たな十字交差点・道路を整備し、仮設道路を撤去して令和5年3月末に完了予定です。

【海蔵地区都市マス委員会】



四日市市消防団海蔵分団車庫が改築されました



海蔵地区市民センター敷地の南東角にある海蔵分団車庫は、改築のため令和3年8月に解体され、令和4年2月に完成しました。以前の車庫は1階建てでしたが2階建て(1階は消防車庫、2階は団員詰所)となり、合わせてホース塔、倉庫も新しくなりました。

市内24地区のそれぞれに分団があり、消防出動、台風時の水防活動、消火栓の点検、防災訓練の支援協力等の他、消防操法大会や出初め式の参加などの活動を行っています。現在、海蔵分団は16人の方が団員を担っています。

《メモ》海蔵小学校の運動場の北東角にあった海蔵地区市民センターが、昭和59年7月に現在の地に新築移転されたのに合わせて、海蔵分団車庫も同センター敷地内に新築移転されました。それ以前は、東阿倉川二区の唯福寺の南側に、火の見櫓と共がありました。

家庭、事業所に消火器・消火設備を備え、火の取扱いに注意を払うなど、火災予防に気を付けましょう。



(提供 万古町 安井重和さん)

宝くじコミュニティ助成事業で可搬式消防ポンプを導入しました

海蔵地区防災会(会長 海蔵地区連合自治会長)では、令和3年度事業として一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」を活用し、可搬式消防ポンプを令和3年10月に導入しました。

《目的》海蔵地区は可燃性の高い木造建築家屋が密集しており、住民の生命、身体、財産を守るには地域で行なう初期消火活動が重要であり、その活動に資するため可搬式消防ポンプを導入しました。

《運用》このポンプは、海蔵地区防災会の中心組織である海蔵地区連合自治会に配備します。令和3年10月24日には、全自治会長等が参加して、海蔵川高水敷でポンプの操作説明及び試運転・放水訓練を実施しました。

今後も、定期的な訓練の実施、防災セミナーの開催等を行い、大規模災害に備えていきます。

《資機材内容》可搬式消防ポンプ1台、可搬式用台車1台、消防用吸管1本、ストレーナー1個、藤カゴ1個、吸管ロープ1本、消防ホース5本、管鎗1個、噴霧ノズル1個、媒介金具1個、消火栓開閉ハンドル1本、スタンドパイプ1本

《宝くじ社会貢献広報事業 コミュニティ助成事業とは》コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力のある地域づくり等に対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。

